

確認手順①

ハザードマップ等で自宅に危険がある災害にチェックを入れましょう。また、どれくらい浸水するか記入しましょう。ハザードマップは市役所や各支所、インターネットで確認することができます。



確認手順②

気象情報等の入手先を確認しましょう。

- 【入手先の例】
- ・テレビ（データ放送）
 - ・ひめじ防災ネット
- 登録型の防災情報メール配信サービスです。登録には、下記アドレスに空メールを送ってください。

himeji@bosai.net



姫路市 防災



INOCHINO PASSPORT

命のパスポート

**自宅などの危険度を
確認しましょう**

洪水（浸水深 m）

高潮（浸水深 m）

土砂災害

【気象情報等の入手先】

テレビ、ラジオ、
ひめじ防災ネット、WINK、
FMゲンキ、防災行政無線

確認手順③

最寄りの避難場所等を確認しましょう。災害によって避難場所には適・不適があります。ハザードマップ等で確認し、○△×で危険性を記入しましょう。

**【警戒レベル5】
災害発生**

命を守るための
最善の行動

**【警戒レベル4】
土砂災害警戒情報
避難勧告
避難指示（緊急）**

危険な場所から全員避難
直ちに命を守る行動

警報

**【警戒レベル3】
避難準備・
高齢者等避難開始**

危険な場所から
高齢者などは避難
その他の者は避難準備等

**【警戒レベル2】
注意報
（大雨・洪水・高潮）**

自らの避難行動を確認
・避難場所や避難経路、
避難のタイミングを再確認
・避難情報の把握手段の確認

**【警戒レベル1】
台風が近づいている
豪雨災害の恐れがある**

災害への心構えを高める

安全度	最寄りの避難場所	自宅	親戚・知人宅
チェック	○△×で危険性を記入しましょう		
洪水			
高潮			
土砂災害			

災害の危険性があれば、危険区域外に避難することが原則

ただし、洪水、高潮の場合は下記の3つが確認できれば、屋内に留まり安全を確保することも可能

①家屋倒壊等氾濫想定区域外



②浸水深より居室は高い



③水がひくまで我慢できる



私の避難行動

避難のタイミング

警戒レベル ()

避難場所

洪水

高潮

土砂災害

確認手順④

【避難行動例】

警戒レベル1

- ・防災気象情報等の最新情報に注意

警戒レベル2

- ・ハザードマップ等で避難場所や避難経路、避難のタイミング等の再確認
- ・避難情報の把握手段の再確認

警戒レベル3

- ・高齢者等の要配慮者の方は危険な場所から避難
- ・それ以外の方は避難準備を行う

警戒レベル4

- ・近隣の安全な場所への避難や屋内安全確保を行うなど危険な場所から全員が避難する

警戒レベル5

- ・既に災害が発生しており、命を守る最善の行動をとる

確認手順⑤ 自分の避難のタイミング、避難場所を記載しましょう。
記載例：警戒レベル3 自宅2階

災害の危険性により、避難場所は異なります。親戚や知人宅、自宅上階なども『難』を避ける場所となります。

確認手順①

地震時に必要な対応を確認しましょう。また、津波の危険性や避難場所等を記入しましょう。

【自宅の津波浸水深】

津波ハザードマップで浸水する深さを確認しましょう。

【一時避難場所】

地震や津波の時に一時的に避難する場所です。

【市指定避難所】

自宅で生活できない場合、中長期避難生活をするところです。

家族内で、災害時の避難について話し合います。

命のパスポートに避難場所等を記入し、折りたたみましょう。

作成した命のパスポートを財布などに入れておき、「いざというとき」に確認しましょう。

※インターネットから印刷することができます。

姫路市内における最大震度

(山崎断層帯地震)

震度7

(南海トラフ巨大地震)

震度6強

自宅の津波浸水深 _____ m

地震発生!

- 気持ちを落ち着ける
- 自分の身を守る

地震発生直後の行動

- 揺れが収まってから行動
- 火元の確認
- 出口を確保する
- ガラスや塀から離れる
- 靴を履く
- 非常時持出袋の確保
- 山、がけ崩れの危険箇所にいるときはすぐに避難
- 運転時、ハザードランプを点灯し安全に停車

一時避難場所 (地震時)

(津波時)

市指定避難所

その後の行動

- 火災がないか確認
- エレベーターは使わない
- 不要不急の電話はしない
- (運転時の避難) 道路左側に停車し、鍵を車内に置き、車から離れる
- ガスの元栓を閉める
- 電気のブレーカを切る
- 安否メモを残す
- 海岸から離れる
- 一時避難場所へ集まる
- 自宅で生活できない場合、市指定避難所へ避難

あなたの情報

家族の連絡方法

名前	連絡方法(電話番号等)

緊急連絡先

名前	連絡方法(電話番号等)

備蓄情報

非常時持出品

- 飲料水
- 食料品
- 貴重品
- 救急用品
- ヘルメット
- マスク
- 軍手
- 懐中電灯
- 衣類
- 下着
- 毛布等
- 携帯ラジオ
- 携帯電話の充電器
- ウエットティッシュ
- お薬・お薬手帳
- _____

避難経路(略図)

××危険箇所

姫路市災害対策本部 TEL. 079-221-2200 第3版

確認手順④

家族の連絡方法・緊急連絡先を記入しましょう。

確認手順③

非常時持出品を準備しチェックをいれましょう。

確認手順②

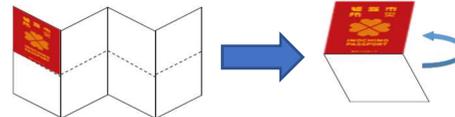
避難場所までの避難方法や避難経路上の危険箇所を記入しましょう。経路上に危険箇所がある場合、迂回ルートを考え、平時から避難経路の危険性を確認しましょう。また、要配慮者の方など避難する際に気にかける人を記入しましょう。

【危険箇所の例】

道路冠水が多発する箇所、ガードレール等がない水路、ハザードマップに記載されている危険箇所(土砂災害警戒区域等)、ブロック塀など

姫路市 命のパスポート

検索



【問合せ先】

姫路市危機管理室 TEL : (079) 223-9596